

## 平成28年熊本地震

# 被災地支援活動からのメッセージ

熊本、大分両県の地震被害で、本市では「阿南市地震被災地支援対策本部」を設置し対応にあたっています。被災地支援活動では、関西広域連合徳島県支援チームの一員として熊本県上益城郡益城町で避難所運営や家屋被害認定、健康相談などに従事し、それぞれ3日から5日間現地で支援活動を行っています。支援活動に従事した職員に被災地で感じたこと学んだことを綴ってもらいました。



阿南市職員出発式の様子

### 支援活動を通し、あらためて地域活動の大切さを実感

防災対策課 主事 宮本優輔

熊本地震発生から約1カ月後の5月13日から17日までの間、関西広域連合徳島県支援チーム第10陣として、熊本県益城町で支援活動に従事した。



支援活動に従事

私たち10陣は益城町保健福祉センターで避難所運営業務を担当したが、避難者が約300人程度いる中で、中心として対応すべき益城町の職員が避難所に1人しか配置されていなかったため、避難所運営や災害対応で発生する業務の対処が全く追いついていない状況だった。

一方、徳島県は南海トラフ巨大地震の襲来が想定され、地震にくわえて津波が予想されていて、熊本地震以上の被害を受ける可能性がある。災害発生に備え、その対策は多々考えられるが、今回の熊本での活動を通じ最も大事な対策の一つとして確信したことは、市民一人ひとりが地域住民として日頃から地域活動に積極的に参加し、近隣住民とのコミュニケーションを図っておくことである。

地域とのつながりが普段からあれば、今後発生が予想されている南海トラフ巨大地震が発生したときも、近所どうしで助け合うことができる。避難所での生活に移った時にも、「避難してきた方がどんな方か」「生活する上で配慮が必要な方なのか」がすぐにわかる。災害が発生し、行政の支援が入った時に、「この避難所には何人いてその内配慮が必要な方は何人」等という情報があれば行政側の対応も変わる。行政の支援活動を行う上で、避難所にどんな人がいるかという情報が最も重要な情報になる。

そして、避難所も災害が発生してしばらくは行政等の支援が入るが、それも長く続けられるわけではない。行政等の運営支援が終わってからは地域による自主運営になるので、そういう時に避難所運営に関しても高い見識を有する防災士の資格を持っている



倒壊した家屋

人が、地域でリーダーシップを取っている人と共同して避難所を運営してもらうとより良い避難所運営ができるのではないかと思った。

### 学ぶべきことは今、熊本にある。

企画政策課 主査 山田博文

熊本県を中心に九州を襲った地震は、各地に深い爪痕を残した。一連の地震で震度7の揺れに二度襲われた益城町では、死者21人、全壊、半壊、一部損壊家屋は9,965棟という甚大な被害が発生。避難者は一時、住民の約3分の1に当たる11,260人に上り、地震発生から1カ月が経過してもなお、3,000人が避難所での生活を余儀なくされていた。

私たちは、5月13日から5日間、徳島県職員とともに益城町保健福祉センターで避難所運営支援を行った。そこで知ったのが、避難所運営の難しさである。

約300人が身を寄せていた同センターでは、生活環境の改善と避難者による自主運営への移行が課題となっていた。避難所運営には4県の職員が支援に当たっていたが、肝心の町職員は1人しか配置されておらず、課題を解決していける十分な裁量が現場になかったという。調整役を担っていた徳島県の職員は、「町や県がしっかり現場を指揮し、現状と対策を示してくれないと、支援職員だけで課題を解決するには限界がある」と残念がっていた。東日本大震災を経験した私たちは、「もう“想定外”は許されない」と地震・津波への防災対策を根本から見直した。あれから5年、忘れる間もなく発生した今回の地震は、観測史上初めて震度7を連発するなど、極めて活発で異例づくしの推移をたどり、改めて「想定外」は起こり得ることを思い知らされた。人知の及ばないのが自然の力ではあるが、そこは冷静に南海トラフ巨大地震への備えを考えてみたい。

今、被災地では不眠不休の対応が続けられているが、その取組を看過してはいけぬ。町であれ市であれ、同じ自治体であれば災害対応に大差はなく、今回、被災自治体が直面した問題は本市でも起こり得るからである。その一つ一つを検証することで本市の防災対策の強化に生かせないだろうか。震度4を超える揺れや長期にわたる避難所運営などの経験のない私たちが、学ぶべきことは今、熊本にあると強く感じている。



ミーティングの様子

帰りの車窓、至るところで“くまモン”のイラストを目にした。県民が徹して利用しようとする姿勢がうかがえる。“くまモン”で一つになれる熊本県民の底力を信じ、一日も早いまちの復興を心から祈っている。